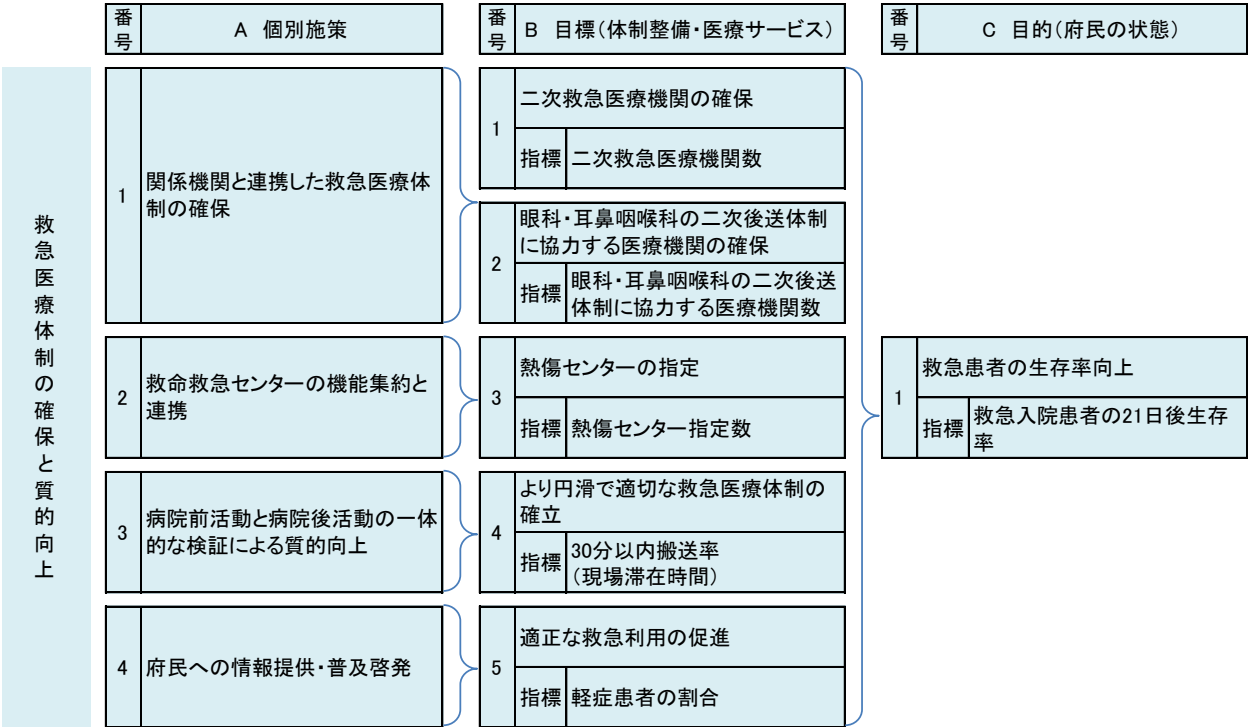


施策・指標マップ



目標値一覧

分類 B: 目標 C: 目的	指 標	対象年齢	現 状		目 標 値	
			値	出典	2020 年度 (中間年)	2023 年度 (最終年)
B	二次救急医療機関数	—	287 か所 (平成 28 年度)	大阪府「医療 対策課調べ」	現状維持	現状維持
B	眼科・耳鼻咽喉科の二次後 送体制に協力する医療機関 数	—	輪番制 (眼科 31 か所 / 耳鼻咽喉科 32 か所) (平成 29 年度)	大阪府「医療 対策課調べ」	現状維持	現状維持
B	熱傷センター指定数	—	0 か所 (平成 29 年度)	大阪府「医療 対策課調べ」	0 か所	2 か所
B	30 分以内搬送率 (現場滞在時間)	—	94.9% (平成 27 年中)	消防庁「救急 搬送における 医療機関の受 入状況等実態 調査」	向上	向上
B	軽症患者の割合	—	61.5% (平成 28 年中)	消防庁「救急 救助の現況」	減少	減少
C	救急入院患者の 21 日後生 存率	—	94.2% (平成 28 年中)	消防庁「救急 救助の現況」	—	向上

救急医療

機能	施策	施策効果	(最終) 目的
救護	1 速やかな救急蘇生等の普及、適切な救急受診の促進 再掲 ☐ 関連データ 救急法等の実技講習会や研修会等の普及啓発活動 ☐	14 重症傷病者(外傷者、在宅療養患者を含む。)に対し適切かつ迅速な初期治療と搬送が行われる 再掲 ☐ 関連データ 心肺機能停止傷病者(心肺停止患者)全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数 ☐ 救急要請(覚知)から医療機関への収容までに要した平均時間 ☐ 受入困難事例の件数 ☐ M C協議会の開催回数(症例検討会、研修等を含む。) ☐ ドクターヘリ運航調整委員会や症例検討会等の開催回数 ☐ ドクターヘリ等の関係機関との訓練回数 ☐	
	2 病院前救護活動の適切な実施(メディカルコントロール体制の整備) 再掲 ☐ 関連データ 救急隊の救急救命士運用率 ☐ 救急搬送人員数 ☐		
	3 ドクターヘリやドクターカー等の効率的・効果的な運用 再掲 ☐ 関連データ ドクターヘリの要請件数・出動件数 ☐ ランデブーポイントの登録数 ☐ ドクターカー等の出動件数 ☐		
救命医療	4 三次救急医療体制の整備 再掲 ☐ 関連データ 三次救急医療機関数(救命救急センター等) ☐ うち高度救命救急センター数 ☐	15 重篤な救急患者が適切な医療を受けられる 再掲 ☐ 関連データ 救命救急センター充実段階評価Aの割合* ☐ 受入困難事例の件数 ☐ M C協議会の開催回数(症例検討会、研修等を含む。) ☐ ドクターヘリ運航調整委員会や症例検討会等の開催回数 ☐ ドクターヘリ等の関係機関との訓練回数 ☐ *平成30年度から新しい充実段階評価を実施予定	
	5 ドクターヘリやドクターカー等の効率的・効果的な運用 再掲 ☐ 関連データ ドクターヘリの要請件数・出動件数 ☐ ランデブーポイントの登録数 ☐ ドクターカー等の出動件数 ☐		
	6 速やかな救急蘇生等の普及、適切な救急受診の促進 再掲 ☐ 関連データ 救急法等の実技講習会や研修会等の普及啓発活動 ☐		
入院救急医療	7 二次救急医療体制の整備 再掲 ☐ 関連データ 二次救急医療機関数 ☐	16 入院治療を要する重症患者が適切な救急医療を受けられる 再掲 ☐ 関連データ 受入困難事例の件数 ☐ M C協議会の開催回数(症例検討会、研修等を含む。) ☐	19 傷病者の状態に応じた適切な救急医療を提供できる体制が整っている 関連データ 心肺機能停止傷病者(心肺停止患者)の一ヶ月後の予後 ☐ 交通事故死者数 ☐
	8 速やかな救急蘇生等の普及、適切な救急受診の促進 再掲 ☐ 関連データ 救急法等の実技講習会や研修会等の普及啓発活動 ☐		
初期救急医療	9 初期救急医療体制の整備 再掲 ☐ 関連データ 初期救急医療施設数 ☐ 一般診療所の初期救急医療への参画率 ☐	17 軽度の救急患者が適切な救急医療を受けられる 再掲 ☐ 関連データ 小児救急医療電話相談のうち、急患センターを勧めた割合 ☐ 小児救急医療電話相談のうち、翌日受診(かかりつけ医)を勧めた割合 ☐ M C協議会の開催回数(症例検討会、研修等を含む。) ☐	
	10 速やかな救急蘇生等の普及、適切な救急受診の促進 再掲 ☐ 関連データ 救急法等の実技講習会や研修会等の普及啓発活動 ☐		
	11 小児救急医療電話相談の実施 再掲 ☐ 関連データ 小児救急医療電話相談(※8000)の回線数・実施日数 ☐		
救命後の医療	12 救命後の医療体制の整備 再掲 ☐ 関連データ 転棟・退院調整をするものを常時配置している救命救急センター数 ☐	18 回復期・慢性期に移行した患者が適切な医療を受けられる 再掲 ☐ 関連データ 緊急入院患者における退院調整・支援の実施件数 ☐ M C協議会の開催回数(症例検討会、研修等を含む。) ☐	
	13 リハビリテーションの実施体制の整備 再掲 ☐ 関連データ 回復期リハビリテーション病棟を有する医療機関 ☐		

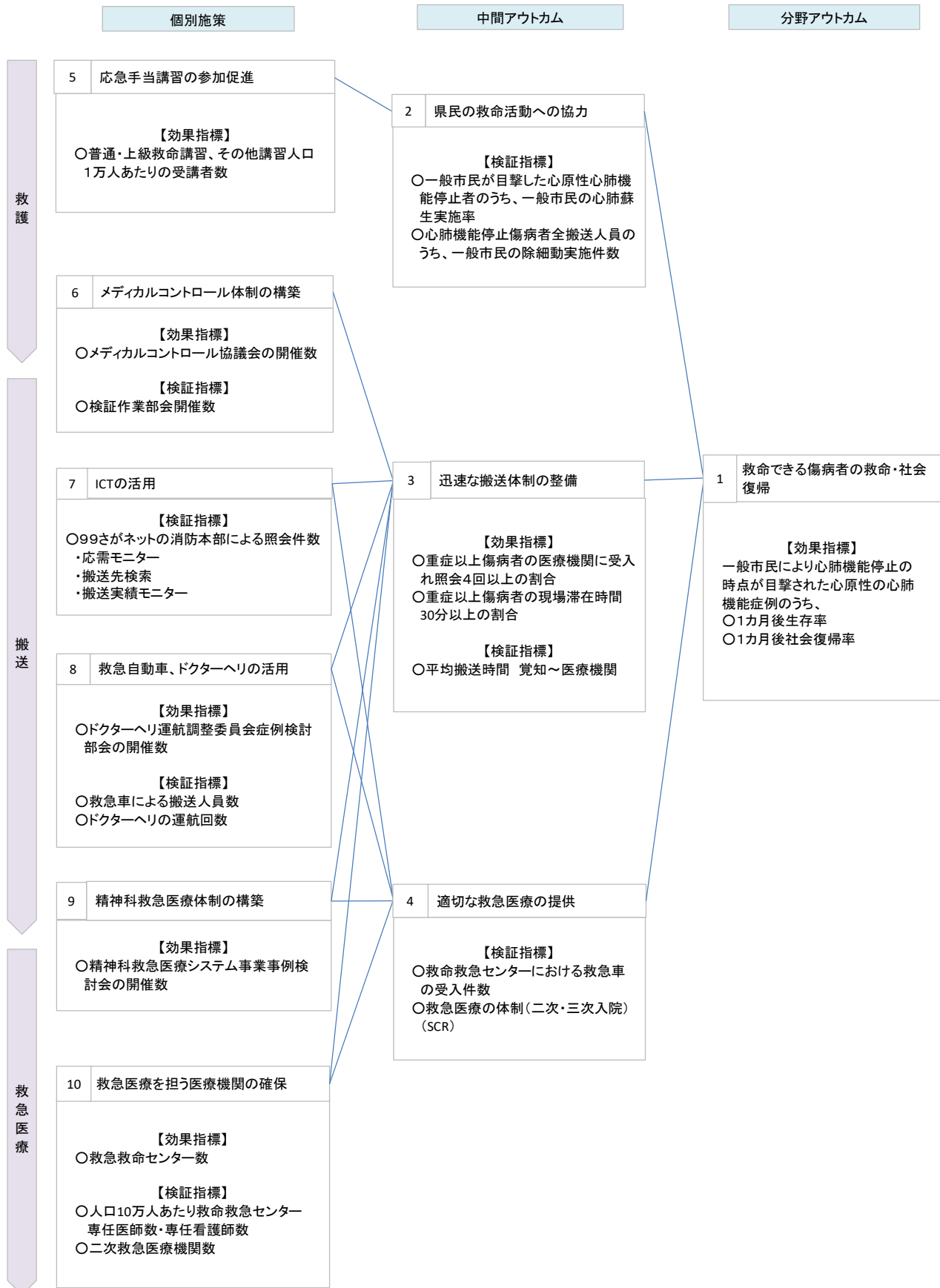
・再掲している施策等は、再掲欄の✓で表示
・関連データの矢印は、当該データの方向性を示す

救急医療

機能	施策	施策効果	(最終) 目的
救護	1 速やかな救急蘇生等の普及、適切な救急受診の促進 再掲 ☐ 関連データ 救急法等の実技講習会や研修会等の普及啓発活動 ☐	14 重症傷病者(外傷者、在宅療養患者を含む。)に対し適切かつ迅速な初期治療と搬送が行われる 再掲 ☐ 関連データ 心肺機能停止傷病者(心肺停止患者)全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数 ☐ 救急要請(覚知)から医療機関への収容までに要した平均時間 ☐ 受入困難事例の件数 ☐ M C協議会の開催回数(症例検討会、研修等を含む。) ☐ ドクターヘリ運航調整委員会や症例検討会等の開催回数 ☐ ドクターヘリ等の関係機関との訓練回数 ☐	
	2 病院前救護活動の適切な実施(メディカルコントロール体制の整備) 再掲 ☐ 関連データ 救急隊の救急救命士運用率 ☐ 救急搬送人員数 ☐		
	3 ドクターヘリやドクターカー等の効率的・効果的な運用 再掲 ☐ 関連データ ドクターヘリの要請件数・出動件数 ☐ ランデブーポイントの登録数 ☐ ドクターカー等の出動件数 ☐		
救命医療	4 三次救急医療体制の整備 再掲 ☐ 関連データ 三次救急医療機関数(救命救急センター等) ☐ うち高度救命救急センター数 ☐	15 重篤な救急患者が適切な医療を受けられる 再掲 ☐ 関連データ 救命救急センター充実段階評価Aの割合* ☐ 受入困難事例の件数 ☐ M C協議会の開催回数(症例検討会、研修等を含む。) ☐ ドクターヘリ運航調整委員会や症例検討会等の開催回数 ☐ ドクターヘリ等の関係機関との訓練回数 ☐ *平成30年度から新しい充実段階評価を実施予定	
	5 ドクターヘリやドクターカー等の効率的・効果的な運用 再掲 ☐ 関連データ ドクターヘリの要請件数・出動件数 ☐ ランデブーポイントの登録数 ☐ ドクターカー等の出動件数 ☐		
	6 速やかな救急蘇生等の普及、適切な救急受診の促進 再掲 ☐ 関連データ 救急法等の実技講習会や研修会等の普及啓発活動 ☐		
入院救急医療	7 二次救急医療体制の整備 再掲 ☐ 関連データ 二次救急医療機関数 ☐	16 入院治療を要する重症患者が適切な救急医療を受けられる 再掲 ☐ 関連データ 受入困難事例の件数 ☐ M C協議会の開催回数(症例検討会、研修等を含む。) ☐	19 傷病者の状態に応じた適切な救急医療を提供できる体制が整っている 関連データ 心肺機能停止傷病者(心肺停止患者)の一ヶ月後の予後 ☐ 交通事故死者数 ☐
	8 速やかな救急蘇生等の普及、適切な救急受診の促進 再掲 ☐ 関連データ 救急法等の実技講習会や研修会等の普及啓発活動 ☐		
初期救急医療	9 初期救急医療体制の整備 再掲 ☐ 関連データ 初期救急医療施設数 ☐ 一般診療所の初期救急医療への参画率 ☐	17 軽度の救急患者が適切な救急医療を受けられる 再掲 ☐ 関連データ 小児救急医療電話相談のうち、急患センターを勧めた割合 ☐ 小児救急医療電話相談のうち、翌日受診(かかりつけ医)を勧めた割合 ☐ M C協議会の開催回数(症例検討会、研修等を含む。) ☐	
	10 速やかな救急蘇生等の普及、適切な救急受診の促進 再掲 ☐ 関連データ 救急法等の実技講習会や研修会等の普及啓発活動 ☐		
	11 小児救急医療電話相談の実施 再掲 ☐ 関連データ 小児救急医療電話相談(※8000)の回線数・実施日数 ☐		
救命後の医療	12 救命後の医療体制の整備 再掲 ☐ 関連データ 転棟・退院調整をするものを常時配置している救命救急センター数 ☐	18 回復期・慢性期に移行した患者が適切な医療を受けられる 再掲 ☐ 関連データ 緊急入院患者における退院調整・支援の実施件数 ☐ M C協議会の開催回数(症例検討会、研修等を含む。) ☐	
	13 リハビリテーションの実施体制の整備 再掲 ☐ 関連データ 回復期リハビリテーション病棟を有する医療機関 ☐		

・再掲している施策等は、再掲欄の✓で表示
・関連データの矢印は、当該データの方向性を示す

○ 施策体系表



救急医療分野 施策・指標体系図

番号	C 個別施策
----	--------

1	住民に対する救急蘇生法、予防救急等の普及啓発の実施
	指標 住民の救急蘇生法の受講率
2	沖縄県メディカルコントロール協議会の活用
	指標 メディカルコントロール協議会の開催数
3	ドクターヘリ、ドクターカー等の効果的な活用
	指標 ドクターヘリ、ドクターカー運用調整会議の実施
4	急患空輸体制の構築
	指標 ヘリコプター等添乗医師等確保事業添乗当番病院数
	指標 救急病院のヘリポート数

5	入院を要する救急医療体制の整備
	指標 2次救急医療機関の数
6	ER型救急医療体制の整備
	指標 ER型救急医療機関の数
7	救命救急医療体制の整備
	指標 救命救急センターの充実度評価Aの割合
8	精神科救急医療体制との連携
	指標 精神科救急医療体制との連絡会議の実施

9	救急医療機関から救命期を脱した患者を適切な医療機関等に転院出来る体制の整備
	指標 退院調整をする者を常時配置している救命救急センターの数
10	地域包括ケアシステムと救急医療の連携の推進
	指標 地域包括ケアシステムの関係者との連絡会議の実施
11	終末期の患者への対応及び普及啓発
	指標 終末期の患者への対応に関する研修会の実施

番号	B 中間アウトカム
----	-----------

1	適切な病院前救護活動が可能な体制
	指標 救急要請から救急医療機関への搬送までに要した平均時間
	指標 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止者でVF又はVTで搬送された傷病者のうち、一般市民により除細動が実施された割合
	指標 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止者のうち、一般市民が心肺蘇生を実施した割合

2	重症度・緊急度に応じた医療が提供可能な体制
	指標 救急病院数

3	地域包括ケアシステムにおける救急医療の役割の検討
	指標 救急搬送患者の地域連携受入件数

番号	A 分野アウトカム
----	-----------

1	救命できる傷病者を社会復帰させている。
	指標 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の生存率及び社会復帰率

＜数値目標＞

目標項目		基準値	現状値	目標値 (R5)	備考
取組の方向性（中間アウトカム）					
圏救急要請（覚知）から救急医療機関への搬送までに要した平均時間		—	32.6 分	全国平均より低い	R1 全国平均 39.5 分
救急救命センターの充実評価 S および A の数		4	4	4	新評価基準においても A 判定以上を維持
特定行為が可能な救急救命士	気管挿管	160 人	214 人	250 人	15 人/年
	薬剤投与	339 人	439 人	470 人	
重症患者における受入れ医療機関決定までの照会回数が4回以上の割合		0.1% (H27)	0.19%	0.1% 未滿	
圏関西広域連合外の隣接県との協定締結数		—	0	3	福井県、岐阜県、三重県

ロジックモデル

番号	具体的な施策(アウトプット)	番号	取組の方向性(中間アウトカム)		番号	目指す姿(分野アウトカム)	
1	救命救急センターを核としたブロック化(4ブロック)	1	圏救急医療に関するブロック化の円滑な推進	圏救急要請(覚知)から救急医療機関への搬送までに要した平均時間	1	患者が重要度・緊急度に応じた適切な医療を受けることができる。	
2	ブロック毎に関係機関で構成する救急医療体制の検討の場の設定					指標	(検討中)
3	3年後までに各ブロックにおける救急医療体制の整備						
4	疾病ごとに設置している検討会の結果を反映した医療機能一覧表を作成	2	救急医療機能の明確化	救命救急センターの充実評価SおよびAの数			
5	身体合併症の精神疾患患者について、精神科病院との連携や実施基準の検証				指標		
6	専門研修の基幹病院と連携し、救急医療に必要な能力を有した医師の育成・確保	3	救急医療における医師の養成・確保	(検討中)			
					指標		
7	救急救命士の確保および資質向上	4	病院前救護体制の強化	特定行為が可能な救急救命士(気管挿管・薬剤投与) 重症患者における受入れ医療機関決定までの照会回数が4回以上の割合			
8	実施基準の検討・見直し				指標		
9	バイスタンダーの育成						
10	キーワード方式の徹底による後遺症の軽減や救命数の増加	5	ドクターヘリの活用	圏関西広域連合外の隣接県との協定締結数			
11	ドクターヘリの機動力を生かし、疾病毎の医療圏の再構築や高度救急医療体制の構築				指標		
12	関西広域ドクターヘリを容易に要請できる補完体制の活用						
13	隣接県のドクターヘリとの連携体制の構築						
14	「医療ネット滋賀」の普及啓発	6	県民啓発の実施	(検討中)			
15	医療機関の適切な選択、救急車の正しい利用方法、かかりつけ医を持つことの啓発				指標		

7. 施策と指標のマップ

図表 1 救急医療分野の施策と指標のマップ

